

日本科学者会議神奈川支部（JSA Kanagawa）第 59 回定期大会の開催について

5 月 1 日 J S A 神奈川支部幹事会

Web <https://jsa-kanagawa.jp>

すでに支部通信でお知らせしているように、神奈川支部は5月20日（土）13時から、JR石川町駅徒歩3分の『かながわ労働プラザ（Lプラザ）』で、第59回定期大会を開催します。会員各位のご出席をお願いします。やむなく欠席される方は、委任状に記入しファックスにて提出してください。大会では支部会費の改定を提案しています。次期大会までの討議をへて実施することにしました。委任状とともに同封したアンケートは、大会議案への意見（支部独自の会費免除など）、支部の現状把握をするもので、委任の如何にかかわらず提出をお願いします（以上の目的のみに使用します）。また、会費改定以外の議案は支部のWeb(HP)に後日、公表しますので、ご確認ください。

大会にさきだって、記念講演とドキュメンタリーの上映を行います。いま、世界ではロシアによるウクライナへの侵攻が日本をふくむ世界経済に深刻な影響をあたえています。政治的にもかつてない緊張状態にあるといわれます。岸田政権はあらゆる面で、アメリカ、大企業本位の政治は国民との矛盾をふかめています。この記念講演は、アメリカの裏庭といわれた中南米で、あいついで誕生している左派政権、その自主的な外交路線と背景について、当会の山崎会員（専攻 途上国、SDGs など）に講演をお願いしました。また、南米、チリの豊かな自然、文明化のもとイギリスに連れ去られたチリ人、ピノチェト独裁政権に政治犯への仕打ちなどのキーワードになっているドキュメンタリー「真珠のボタン」を観て、さらに深めることにしました。世界史は、強国だけではなくそれぞれの国（権力）の複雑に連鎖し、発展してきたという歴史観があります。日本人にとって、中南米は移民の地として知られていますが、将来にかかわる何かをえることができるかもしれません。終了後、懇親会を予定しています。

日時：5 月 20 日（土）13 時～16 時

：かながわ労働プラザ ：1, 2 号会議室、横浜市中区寿町 1-4、045-633-5413

交通：JR 石川駅中華街口(北口)徒歩 3 分、地下鉄伊勢佐木長者町駅出口 2 徒歩 12 分

・ 講演：山崎圭一（横浜国立大学教授）

「中南米における第二次ピンクタイドと自主的外交の展開」 13：00～14：00

・ 映画：「真珠のボタン」 パトリシオ・グスマン監督 14：00～15：20

・ 総会：経過報告、方針、会計報告・予算案、支部会費改定案、役員選出など 15：20～16：00

日本科学者会議神奈川支部事務局長 飯岡 ひろし
連絡先 08019870994 メール jsa.kanagawa@gmail.com

昨年度（3月末時点）、会費未納の方は、金額を記入した振込用紙を同封しました。今回の支部費の値上げを提案しています。支部は幹事会の前に雑誌の郵送実務を行うなど、経費の削減に努力していますが、以前、役員の負担によるところも多いものがあります。早期の納入をお願いします。

委任状

私は、日本科学者会議神奈川支部第59回定期大会に 出席 ・ 欠席 します。議案（経過報告、方針、決算、予算、会費改定、役員選出など）、全国大会の代議員選出について下記に委任します。

[_____]氏 無記入の場合は大会議長に一任

2023年5月 日 氏名 _____

委任状は上記のメールアドレスまたは Fax にて送付してください。メールの場合はお手数ですが、アンケートをふくめ、添付ファイルとするか、内容を記入して送信してください。当日の都合があるなど不確定の場合は、大会の成立にかかわるため委任状を提出するようお願いします。

.....

アンケート

氏名 (_____)
住所 (〒 _____)
メール 自宅 (_____) 職場 (_____)
電話番号 自宅 (_____) Fax(_____) 携帯(_____)
年齢 (_____)歳 会員歴 (_____)年
所属 (_____) 現職・元職 加盟学術団体(_____)
テーマ (_____) (_____)

講演依頼 受けることができる・受けることはできない・内容によって検討する

大会議案（全国・支部）・支部会費改定への意見、その他何でもご自由にお書きください

第 59 回 JSA 神奈川支部第 59 回大会

報告の部

A 活動報告

1. 社会的活動（他団体との交流、個人参加ほか）

- 1) 2022 年 4 月 9 日と 5 月 3 日（憲法記念日）に「九条かながわの会」が桜木町駅と横浜駅西口で「いざ神奈川」いっせい行動」の宣伝活動に参加（JSA 神奈川支部通信,2022 年 6 月号）
- 2) 「憲法を考える県民集会」（5 月 1 日、かながわ労働プラザ、講演：志田陽子（武蔵野美術大学教授）「憲法改正の理路と逸脱－改憲の軌道をただす」）に参加（JSA 神奈川支部通信,2022 年 6 月号）
- 3) 参院選全県市民の決起集会（5 月 29 日、関内ホール）に参加（JSA 神奈川支部通信, 2022 年 7 月号）
- 4) 参院選を勝利する市民集会（6 月 4 日、鎌倉生涯センター）に参加（JSA 神奈川支部通信, 2022 年 7 月号）
- 5) シンポジウム「学術会議任命拒否問題とは何か」（7 月 6 日、全国町村会館）に参加（JSA 神奈川支部通信, 2022 年 9 月号）
- 6) 原水爆禁止 2022 年世界大会・科学者集会「安全保障と差別」（7 月 24 日・31 日、オンライン）に参加（JSA 神奈川支部通信,2022 年 9 月号）
- 7) 第 2 回山中市政を進める市民のつどい（7 月 30 日、横浜市従会館、国政報告：畑野君枝元衆院議員、主催：市民の市長をつくる会）に参加（JSA 神奈川支部通信,2022 年 10 月号）
- 8) 「山中市政誕生から 1 年 市民のための横浜市政を考える講演と報告」（8 月 20 日、横浜市技能文化会館、主催：市民のための横浜市政を進める会、講演：山崎圭一（横浜国立大学教授）「山中市政誕生の評価と住民自治をどう発展させるか」）に参加（JSA 神奈川支部通信,2022 年 10 月号）
- 9) 神奈川革新懇主催「夏の活動交流会」（9 月 3 日、藤沢市民会館）に参加（JSA 神奈川支部通信, 2022 年 11 月号）
- 10) 安保法制違憲かながわ訴訟の原告団集会（9 月 5 日、かながわ労働プラザ）に参加（JSA 神奈川支部通信,2022 年 10 月号）
- 11) 神奈川県大学人有志が「安倍元首相国葬に反対する共同声明」を発表（9 月 26 日）（JSA 神奈川支部通信,2022 年 11 月号）
- 12) 根岸線沿線九条の会連絡会主催田中優子さん講演会 「迫る改憲発議－改憲 4 項目という入り口」（9 月 30 日、杉田ホール）に参加（JSA 神奈川支部通信,2022 年 11 月号）
- 13) 山下ふ頭の再開発についての学習会（11 月 2 日、主催：市民のための横浜市政を進める会、講師：水上裕之さん（横浜港ハーバーリゾート協会事務統括））に参加（JSA 神奈川支部通信, 2022 年 12 月号）
- 14) 県民集会「改憲発議をさせない 私たちの改憲論議」（11 月 3 日、かながわ県民センター、講演：瀬戸厚さん（元山口大学副学長）「新たな段階を迎えた護憲運動の現在とこれから～軍事国家日本への道を阻むために」）に参加（JSA 神奈川支部通信,2022 年 12 月号）
- 15) 栄区九条の会学習会「宗教、平和、憲法、一人の牧師の視点から」（11 月 12 日、あーすぷらざ、講師：秋吉隆雄牧師）に参加（JSA 神奈川支部通信, 2023 年 1 月号）

- 16) 栄区革新懇総会と記念講演「横須賀火力発電所建設問題と気候危機」(11月23日、サカエスタ、講師：鈴木陸郎さん)に参加(JSA 神奈川支部通信, 2023年1月号)
- 17) 11.30 集会「いま戦争と憲法に向き合う」(11月30日、神奈川県民ホール、講師：田中優子さん(法政大学名誉教授)「改憲発議と自民党憲法草案」、金平茂紀さん(TBS テレビ)「ウクライナ・憲法・メディア」)に参加(JSA 神奈川支部通信, 2023年1月号)
- 18) 安保法制違憲かながわ訴訟・東京高裁第1回控訴審(12月6日)に参加(JSA 神奈川支部通信, 2023年1月号)
- 19) 九条科学者の会 2022年12月講演会「立憲主義国家の破壊と再生」(12月18日、オンライン、講師：奥野恒久さん(龍谷大学教授)「日本国憲法平和主義の今日的意義」、宮間純一さん(中央大学教授)「歴史のなかの『安倍国葬』問題」)に参加(JSA 神奈川支部通信, 2023年2月号)
- 20) 県政ウォッチ「県内基地調査&石炭火力発電所現場視察」(12月2日、主催：平和で明るい県政をつくる会)に参加(JSA 神奈川支部通信, 2023年3月号)
- 21) 横浜市 2023年予算案学習会(2023年2月6日、主催：市民のための横浜市政を進める会)に参加(JSA 神奈川支部通信, 2023年4月号)
- 22) 「建国記念の日」に反対する 2.11 神奈川県民のつどい(2月11日、かながわ県民センターホール)講師：前川喜平さん(元文部科学省事務次官)「憲法と教育の今日的課題～人権・平和・民主主義の守り手は」)に参加、JSA 神奈川支部も参加する実行委員会主催(JSA 神奈川支部通信, 2023年3月号, 4月号)
- 23) 第3回山中市政を進める市民のつどい(2月23日、横浜市従会館、講演：川瀬憲子さん(静岡大学教授)「国の予算と地方財政の課題－集権型システムの構造」、主催：市民の市長をつくる会)に参加(JSA 神奈川支部通信, 2023年4月号)
- 24) 県知事選勝利をめざす決起集会(2月27日、関内ホール、主催：平和で明るい神奈川県政をつくる会)に参加(JSA 神奈川支部通信, 2023年4月号)

2. 研究活動

- 1) JSA 総合学術研究集会 in 大阪を「新型コロナウイルス・気候危機下の科学と社会－脱炭素・脱原発・脱貧困」に参加(11月19日～12月11日、大阪大学)に参加(JSA 神奈川支部通信, 2023年1～3月号、日本の科学者, 2023年3月号)
- 2) 支部研究交流会を 2023年2月18日にかがわ労働プラザで開催、講演：萩原伸次郎代表幹事(横浜国立大学名誉教授)「危機に立つ日本経済－日米関係から読み解く」に続き、鈴木秀顕さん(松蔭大学准教授)「持続可能な教育を考えてもったいない」、塩川祥子さん(静岡大学元教授)「静岡大学工学部初の女性教員になって」、飯岡ひろしさん(SUW 研究所代表)「かながわの水道と持続可能性」、後藤仁敏さん(鶴見大学名誉教授)「山中市政の1年半と4月の横浜市会選の課題」の4つの話題提供があり、活発な討論をおこなった(JSA 神奈川支部通信, 2023年4月号)

3. 組織活動

- 1) 第57期第3回 JSA 関東甲信越地区会議(2022年4月29日)の記録(JSA 神奈川支部通信, 2022年6月号)
- 2) JSA 神奈川支部第58回定期大会(5月14日、かながわ総研会議室) 出席7名、委任状21名、計28名の参加で開催(成立は会員数51名の3分の1で17名以上)。記念講演：三宅正純会員「歯科疾患

の由来—なぜ、歯科疾患はあるのか」 活動報告、活動方針、会計報告を了承、役員選出を行なった（JSA 神奈川支部通信,2022年7月号）

3) 日本科学者会議第53回定期大会（5月14日・6月12日、オンライン開催）に、代議員として飯岡が参加（JSA 神奈川支部通信,2022年7月号、日本の科学者,2022年9月号）。

4) JSA 神奈川支部(JSA-Kanagawa) ホームページを開設（JSA 神奈川支部通信, 2022年10月号）

5) 日本科学者会議58期第2回幹事会（7月24日、オンライン開催）の報告（JSA 神奈川支部通信,2022年11月号）

6) JSA57期第2回関東甲信越地区会議（12月22日）に参加（JSA 神奈川支部通信, 2022年2月号）、JSA57期第2回関東甲信越地区会議（10月7日）の報告（JSA 神奈川支部通信,2021年11月号）、JSA57期第3回関東甲信越地区会議（4月28日）の報告（JSA 神奈川支部通信,2022年6月号）

7) 日本科学者会議58期第3回幹事会（12月25日、オンライン開催）の報告（JSA 神奈川支部通信,2023年2月号）

議案の部

B 活動方針

安倍内閣、菅内閣を引きついだ岸田内閣は、新型コロナウイルス COVID-19 による感染者や死者は世界的規模に拡大し、私たちの生命と経済活動に深刻な影響をもたらすなかで、PCR 検査など疫学的な措置に後ろ向きであるなど、その対応や予算措置はつねに後手であった。5月には五類相当に移行するが、コロナ後遺症に苦しむ人々も多く、パンデミックに応じた医療体制の確保や経済的困窮者、零細企業などへの支援を政府に強く要望する。大学や研究機関での教育、研究活動の独立性を脅かす学術会議会員の任命拒否問題は、政府は今国会での提出を断念したが、軍事費倍増を意図した予算案とともに学問の軍事化を推し進めるものであって断固反対する。ロシアのウクライナ侵攻は3年目になって、プーチン政権は核使用の脅かしまでして、これを正当化しようとしている。世界はいまだ平和への道筋を見いだすことができない。しかし、このような事態だからこそ、学術の役割は重要である。JSA 神奈川支部は JSA 設立の趣旨に添い国民とともに学問・研究の自由ためさらに行動することとし、以下の支部活動に取り組む。

1. 社会的活動

- 1) 平和と民主主義のための各種集会や行動に参加する。
- 2) 学術会議会員候補6名の任命拒否を撤回させる運動に参加する。
- 3) 横浜市の中山市政を支える活動に参加する。
- 4) 憲法9条を守る運動に参加し、憲法9条科学者フォーラムを計画する。
- 5) 大学、研究機関における軍事研究に反対する。
- 6) 神奈川の医療体制の強化、PCR検査の充実など、行政への働きかけをおこなう。

2. 研究活動

- 1) 諸会議にインターネットを活用して参加しやすいものとする。また、参加の困難な会員の意見交換

の機会をもうける。

- 2) コロナは5類に移行したが、政府は何らの検証もしていないだけでなく、医療逼迫が起きる可能性もあるなかで、保健所、医療機関の職員との連携など、実態に応じた提言をしていく。
- 3) 関東甲信越地区シンポジウムを共催する。
- 4) 『日本の科学者』読書会、支部定例研究会、支部研究交流会を開く。

3.組織活動

- 1) 支部通信を毎月発行する。
- 2) いろいろな機会にJSA加入を訴え、意欲的に会員拡大に取り組む。現在、読者を含めて53名（読者ふくむ）から60名をめざす。
- 3) 支部幹事の補充を行い、体制を強化する。
- 4) 支部のホームページの充実につとめる。
- 5) 全国幹事会に参加し、全国事務局の活動を支える。

C 支部費改定案

神奈川支部の会費は雑誌『日本の科学者』の購読料を含めて、年10,800円／となっています。そのうち、支部会費は2,400円で、2008年から15年間据え置いてきました。支部ではこの会費を維持するため、毎月の雑誌の発送実務を幹事会の前に行うなど、経費の削減に努力してきました。しかし、2022年度は、活動が正常化する中で、全国的な会議も再開され、また、支部が事務局をおく「かながわ総研」の移転に関わる支出もあって、赤字になりました。幹事会では、2023年度の予算にあたって、支部会費の検討をしたところ、経費の高騰などから、会費の改定を提案せざるをえないとの結論にいたりました。支部会費の改定は2,400円（月200円）から4,800円（月400円）するものです。

支部会費改定（案）

- ・ 一般会員 13,200円（全国 8,400円、支部 4,800円）
- ・ 特別会員① 6,600円（全国 4,200円、支部 2,400円）（生活困窮など）※
- ・ 特別会員② 10,800円（全国 8,400円、支部 2,400円）（80歳以上）

ただし、今年度は改定額、減免措置などに、会員の意見をお聞きし、一年後の2024年度の大会で実施を決定し、赤字はコロナ禍で予定していた行事を特別会計に積立したこともあって、ここから支出することにした予算案をたてました。詳しくは別途、会計報告、予算案を参照してください。支部独自の減額は東京支部にあります。全国制度として特別会員①がありますが、支部として特別会員②、年金生活者などの収入に考慮した減額をできないかを考えています。これには、財政状況におよぼす影響や申請なしに一律にするかなどの検討が必要ですが、幹事会では80歳以上一律200円を提案することにしました。

D 会計報告

第59期予算案（第58期決算含む） 別紙

JSA 神奈川支部 第 57 期会計監査報告

第 57 期における支部会計に関して、出納記録及び証拠書類を精査し、現金・貯金残高と照合しましたところ、すべて適正に処理されていることを認めました。

以上署名、捺印の上報告いたします。 2023 年 5 月 20 日 会計監査 北山宏之

D 役員

支部幹事：飯岡ひろし、後藤仁敏、鈴木秀顕、惣田昱夫、中野広、萩原伸次郎、濱田盛久、益田総子、横尾恒隆、渡邊良朗。支部代表幹事：萩原伸次郎。支部事務局長：飯岡宏之。会計：飯岡ひろし。会計監査：北山宏之。JSA53 回定期大会代議員：飯岡ひろし、補欠 後藤仁敏。支部推薦の全国幹事：後藤仁敏。

会計報告および次年度予算(第58・59期)

※1 支部会費は会費の内数で括弧書きとした

一 般 会 計					
	決算 (第58期 2022年5月～2023年4月)			2021 (参考)	備考
	予算	決算	差額	決算	
収入					
前期繰越金	150,000	150,000	0	314,972	
会費・雑誌代 (支部会費)	648,000	464,880 (96,000)	△ 183,120	545,400	10800×40人、5400×4人 (2,400円×40人) ※1
補助金	30,000	34,600	4,600	24,000	誌代還元金含む
雑収入	1,000	859	△ 141	0	懇親会残金
計	829,000	650,339	△ 178,661	884,372	
支出					
会費 (誌代)	504,000	384,151	119,849	431,102	半年払い
支部活動費	30,000	57,444	△ 27,444	0	
会誌等郵送料	50,000	60,463	△ 10,463	44,148	
HP維持費	—	—	—	—	
集会参加補助	50,000	43,500	6,500	0	学術総会交通費など
幹事交通費補助	40,000	37,920	2,080	38,500	
総研会費	36,000	36,000	0	36,000	かながわ総研会費
事務用品	30,000	46,815	△ 16,815	40,721	事務所移転 スタンプなど
振替手数料	10,000	6,734	3,266	7,462	
予備費	—	—	—	—	
計	750,000	673,027	76,973	597,933	
次年度繰越金	79,000	△ 22,688	101,688	286,439	
合計	829,000	650,339	178,661	884,372	

予算 (第59期 2023年5月～2024年4月)	
予算	備考
110,000	
648,000	10,800×60人 900円/月
(144,000)	(2,400円×60人) 200円/月
30,000	
2,000	
790,000	
504,000	7月から6月
40,000	増 10,000円 現地・オンライン※2
50,000	
40,000	新規項目 維持管理委託など
30,000	減 20,000円 総学分
37,000	減 3,000円
36,000	
40,000	増 10,000円
6,000	減 4,000円
5,000	新規項目
788,000	
2,000	
790,000	

※2 1,000円/1H (一日5,000円打切)

特別会計 (特別事業等積立金)			
収入		2021 (参考)	
前期繰越金	832,552		812,163
一般会計から繰入	0		136,439
その他	0		-
計	832,552		948,602
支出			
ホームページ制作費	103,950	残額支払	116,050
一般会計へ繰出	132,688		-
計	236,638		116,050
残額	602,428		832,252

正味財産 (現金・預金)		
帳簿		
特別会計	602,428	
前期繰越金	110,000	
計	712,428	
内訳		
振替口座	637,995	ゆうちょ銀行
普通口座	59,663	ゆうちょ銀行
その他	-	
現金	14,770	
計	712,428	